

「ほかほか」がいっぱいの学校に

新入生7名を迎え、全校児童36名でスタートしました。

令和6年度は、学校経営方針を「安心があふれ、自信が育つ学校づくり」、学校教育目標を「自分を大切に まわりを大切にできる ほかほかがあふれる東野小にしよう」とし、心理的安全性を確保しつつ、子供たちも職員も、持っている力を思い切り発揮できる学校（生活）にしていきたいと思っています。

登校初日からたくさんの「ほかほか」がみられました。朝の気持ちのよい挨拶、校舎内ですれ違いざまに「こんにちは」の挨拶、登校後の玄関まわりの主体的な清掃、かかわり合いの中での声かけ、感謝のことば等々…。これからも元気・やる気・根気をもったの学校生活でいっぱいの「ほかほか」に出会えることを楽しみにしています。

島の将来を担う東野っ子の「生きる力」の育成ために、本校は、子供と地域のひと・もの・ことを「つなぐ」存在であり続けます。そして、学校、家庭（保護者）、地域の皆様と連携し協働的に、子供たちを育てていきたいと思ひます。「大崎上島の子供は大崎上島で育てる！」という教育委員会のビジョン実現にむけ、取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

令和6年4月1日 大崎上島町立東野小学校 校長 望月 浩和